

内容	意見要旨	回答
質問	<p>第3次にある読書手帳の配布の読書手帳とはどのようなものでしょうか。浦安市では、子供たちの読書意欲をサポートしようと、読書通帳サービスを開始しています。銀行の通帳タイプのもので、借りた日付け、図書名等が印字されるということ。中央図書館、分館、市立の小中学校がシステムで繋がれ運用されているそうです。千葉市の手帳もそのようなものでしょうか？</p>	<p>浦安市のように通帳タイプのシステムを利用しているものではなく、手帳タイプです。 家庭での読書の一助となるよう、読んだ本を記録できる「どくしょてちょう」により、親子のふれあいや本を読むきっかけになるよう配布するものです。加曽利貝塚PR大使かそりーぬ のイラストを活用し、A3用紙を折って手帳を作り記録していく形式です。年長児に（10冊用）、小学生1～3年生に（30冊用）、4～6年に（50冊用）と全学年に配布しています。</p>
質問	<p>こども読書活動推進計画を推進するための取組み事業が132項目掲げられています。それぞれの施策・事業項目について、施策実施細目（案）は出来ているのでしょうか。例えば年度計画、月間行動計画表とか項目実施責任者、担当者等が決まっているのでしょうか。文書があるとすれば、ネットで見られますか？</p>	<p>年度ごとに事業の進捗管理を行っています。 実施責任者は、P45別表第1に記載されている各課の課長になり、担当者は別表第2の各課担当職員です。</p>
質問	<p>P2①不読率のデータと巻末資料（P34）市立学校関係データ（2）について子ども読書活動推進計画（第3次）の資料では、1週間の不読率のデータになっており、第4次では1か月の不読率になっているため数値が17～18%から0.1%～に極端に減少しているように感じられます。なぜ比較データを変更したのでしょうか。 巻末資料P34の1市立学校関係データ（2）は1か月の不読率の間違いだと思いますが、ご確認ください。</p>	<p>子ども読書活動推進計画（第3次）から、全国の不読率のデータと比較できるよう1週間の不読率から1か月の不読率に変更しています。 巻末資料P34の1市立学校関係データ（2）は「1か月間に読んだ本が0冊の児童生徒の割合」の間違いです。P2のデータと重複するため削除します。</p>
質問	<p>P34 巻末資料（2）の表ですが、第3次計画にも同じ表があるのですが、数字がかなり違うようです。なにか原因があるのでしょうか。</p>	

内容	意見要旨	回答
質問	<p>P9 第Ⅱ章 第四次計画策定の基本方針 2基本方針 方針1について 「発達段階ごとの特徴を考慮した効果的な取り組みを実施します。」とあるが、乳児から中高生までの発達段階をどのように区分し、その特長をどうとらえているのか、その発達段階ごとの特徴を考慮した効果的な読書活動の取り組みとは何でしょうか。</p>	<p>発達段階ごとの区分及び特徴については、国の計画を参考にしています。 →資料2のとおり</p>
質問	<p>P9 方針1の発達段階というのは、P7にあるように1人ひとりの発達段階に 応じてと言う意味でしょうか。</p>	<p>読書活動の取組については、概要版の裏面に主な取組を掲載しております。</p>
質問	<p>P10・P32推進体制について 千葉市子ども読書活動推進計画（第4次）は、どのような方がどのような課程 を経て作成されたのか、今後の予定も含めて教えて下さい。 第2次計画と第3次計画の課題が、図書館、学校、地域の連携や読書に対する きっかけづくり、学年が進むにつれ読書習慣がなくなることなどほとんど同じ です。計画の検証はどのように行われたのでしょうか。</p>	<p>子ども読書活動推進計画については、法律に基づき国及び県の計画を基本とし策 定を求められていることから、中央図書館内で国及び県の計画の内容を把握、骨 格案を策定するとともに、7月に子ども読書活動推進担当者会議を開催し、変更 点の確認と骨格案を示し方向性を決定しました。その後事業の洗い出しの調査と 中央図書館管理課で素案を策定し、館内会議及び館長会議での調整2回、担当者 会議の調整2回、課長級の推進会議の調整を経て本原案を策定しました。今後、 本協議会でご意見をいただき整理後12月に教育委員会議へ説明、原案を確定し パブリックコメント手続きによる市民意見を整理後3月の教育委員会会議で承認 ののち確定した計画を公表します。なお、国の三次から四次の計画内容に変化が ない部分については、その計画を基本とすることから内容は同様の部分が多く なっています。計画の検証については、取組事業の進捗度合い及び目標数値との 比較等により課題の抽出等検証を行いました。</p>
質問	<p>P11 目標とする数値について 第3次では数値目標を掲げていましたが、「数値目標は取り組みの目安として 掲げるものであり、その達成を目指すものではありません。」としながら、読 書への関心を高め、読書習慣の形成するためにと、この数値を取り上げている 理由について説明してください。</p>	<p>国の第四次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画（H30年度～R 4）」中の数値目標（不読率）は施策を行う上での取組の目安として掲げるもの であり、都道府県、市町村に対して、数値目標の達成について特段の施策の実施 を義務付けるものではない。」としておりますが、市町村推進計画を策定する 際、可能な限り具体的な目標を設定することが求められていることから、本計画 において、目標とする数値は、前計画同様、4つの指標としました。 そのため、「その達成を目指すものではありません」の部分は削除します。</p>

内容	意見要旨	回答
質問	<p>P12 第Ⅲ章 計画推進のための取組 1 家庭の役割と取組について 第3次計画で配布した親子ふれあい本について、保育所などで読み聞かせに利用し、大変喜ばれていましたが、その後の利用状況や、第4次計画にない理由もお聞かせください。</p>	<p>「親子ふれあい本の提供」は、千葉市の財政負担がない臨時交付金を活用し、ファミリーブックタイム運動の一環として平成28年から市内保育所（園）及び幼稚園等（子育て支援施設10、生涯学習施設1、病院1）、累計194団体に絵本を貸与する事業を展開しましたが、経年劣化等により絵本を再利用して貸与する事業を継続することは困難との判断に至り、貸与した本は幼少期から本に親しみ、読書へのきっかけづくりとしての役割を全うしたことから本事業については、ファミリーブックタイム運動を推進する関係課とともに他の事業で補完してまいります。</p>
質問	<p>P13 4ファミリーブックタイム運動の推進について 10月30日にホームページにファミリーブックタイム運動推進月間中とお知らせがありました。 また、P14の6ファミリー読書月間との違いやどのような活動をしているのか教えてください。 4か月健診時と新就学時に配布されるファミリーブックタイム事例集は、絵本の選書や家庭での読書に関しての内容はとても親しみやすく良い内容でした。これからも継続していただきたいと思います。</p>	<p>ファミリーブックタイム運動では、「家族で本に親しむ時間をつくろう」と呼びかけ、事例集の配布を行っています。 特に、「子ども読書まつり」が全市的に実施される10月及び11月を「ファミリー読書月間」として、ポスター掲示や読書手帳を事業参加者に配布する強化月間としています。</p>
質問	<p>P14 おはなし会の実施について 10月28日に美浜図書館より、コロナの感染予防のため絵本の読み聞かせ会に参加できない子ども達のため、「あらしのよるに」と「あるはれたひに」の読み聞かせを配信していました。 コロナ禍での取り組みとして工夫されたことは評価しますが、少し長く絵も変わらないので、子どもたちの反応はどうだったのでしょうか。選書の理由と今後も配信を増やしていくのかお聞かせください。</p>	<p>新型コロナウイルス感染予防のため、2月末以降おはなし会等のイベントが中止になり、子どもたちから、おはなし会再開の問い合わせを多数受けました。絵本の読み聞かせの配信に切り替えるため録画したが、最終段階での出版社も著作権の関係上NGとなりました。そこで、毎年打瀬で実施しているきむらゆういち先生の「絵本の音楽会」が中止となり、配信の話をしたところ、ご本人は難しいが、職員が読むのは良いとの承諾（著作権無料）をいただき実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の配信はコロナ特例であり、本は表紙のみ等いくつかの条件があり、クリアした形での配信。 ・選書については先生の代表作。 ・子どもたちの反応は、本が進まないため「なぜ？と思った」と。しかし、次第に引き込まれる等の感想をいただきました。 ・先生からは「優しい語りで素敵ですね。たくさんの方に楽しんでいただけましたら幸いです。」とのコメントをいただいております。
質問	<p>P15 20 図書館出張講座について詳しい内容を教えてください。</p>	<p>決まった定型的な講座ではなく、絵本講座や「はたらくくるま」としての移動図書館の活用等、要請に応じて実施しております。</p>

内容	意見要旨	回答
質問	P15 22子どもへの読書相談やレファレンスの充実について相談窓口の設置とありますが、新たに設置するのかご説明ください。P17の38の保護者向けの相談窓口とは同じなのでしょうか。	P15 22、P17 38の相談窓口は図書館の規模によって同じ場合もあります。中央図書館では、それぞれ常時設置しておりますが、地区図書館等で各館の状況に応じて土日や放課後に設置することによって、子どもへの読書相談やレファレンスの充実を図っていきます。
質問	P15 22 実際の事例がありましたら教えてください。	
質問	P16 26電子図書館整備について コロナ禍において重要な施策だと考えるので、どのような分野の電子書籍を想定し、システムの導入経費や維持にどのくらいの予算がかかるのか、財政上の措置はあるのかなど詳細を教えてください。	具体的な形や予算は、まだ決まっておりませんが、電子書籍については、スタート用に用意されたパック資料の活用や必要な資料の追加購入などにより資料の充実を図っていく予定です。
質問	P17 34自宅配本サービスについて 所管課に中央図書館が入っていないのですが、中央図書館では行われていないのでしょうか。	自宅配本サービスは、障害があり図書館へ来館できない方へ向けたサービスで、中央図書館が開館する前から行っています。このサービスは区単位で各地区図書館が実施しており、中央区はみやこ図書館が行っています。中央図書館は、自宅配本サービスは行っておりませんが、視覚障害者向けの郵送サービスを行うなど、業務を分担しています。

内容	意見要旨	回答
質問	<p>「団体貸出用カード以外に学校名義のカードを配布し利用を図る」について ◎団体貸出用以外の図書を借りる場合、個人に負担をかけずに利用できる良いシステムだと思います。下記の部分にどのような制約を加えるのかが学校側としては知りたいところです。 ①学校名義のカードで貸し出しを受けられる図書資料の範囲と期間と冊数 ②利用時間 ③学校名義のカードで貸し出しを受け、破損や紛失があった場合の措置</p>	
質問	<p>P18 46 団体貸し出し用の学校名義のカードの配布について 学校図書館指導員より要望が出ていたので、対応を評価します。 学校名義のカードの利用冊数や貸出期間、オンラインでの予約が可能なのかなど、詳細を教えてください。現場の声を聞き使い勝手の良いものにしていただきたいと思っています。</p>	<p>以前より、学校用の図書館セット貸出・団体貸出用について、学校用カードはありましたが、それ以外の図書資料を活用する仕組みづくりとして、団体貸出用カードとは別に学校名義のカードを配布し、利用の促進を図ります。 具体的な運用部分については、今後検討していきます。 P18 46と同様の内容です。</p>
質問	<p>P11 基本方針2 学校名義のカードを新設することについて、教えてください。 とても良い試みと思いました。P18 46と同様の内容ですか。</p>	
質問	<p>P11 基本方針2 読書環境の整備と連携体制の構築について ④団体貸し出しの利用団体数 目標が9団体増となっていますがどのような団体を想定しているのでしょうか。 新規取り組みとしてレファレンス機能の充実を図るため、学校名義の利用カードの配布とありますが、レファレンス機能の充実と利用カードの関係性が不明です。</p>	<p>現状では本編P38に掲載の小中学校、文庫、子どもルーム・読書会などを想定しています。 学校用の図書館セット貸出・団体貸出用以外の図書資料を活用することで、学校の求める様々なレファレンスに対応するため、団体貸出用カードとは別に学校名義のカードを配布し、利用の促進を図ります。</p>
質問	<p>P20 68 公民館図書室へのWi-Fi環境整備について 地区図書館にひき続き公民館にもWi-Fiが整備されることを評価します。 7月議会で承認された図書館のWi-Fi整備は、内閣府の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の第1次補正予算を活用したのでしょうか？ 第2次補正予算にも活用事例28に図書館パワーアップ事業が掲載されていましたが、今回の公民館のWi-Fi整備の予算は確保されているのでしょうか。第2次補正予算に千葉市図書館関係の申請を行っているのでしょうか。</p>	<p>7月議会で承認された図書館のWi-Fi整備は、内閣府の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の第1次補正予算を活用しました。 公民館は平成30年度から指定管理を導入しており、指定管理者である千葉市教育振興財団が公民館諸室のWi-Fi整備を順次進めているところです。Wi-Fi整備にかかる費用については、千葉市から千葉市教育振興財団へ支払っている指定管理料の中から捻出しており、Wi-Fi整備の予算として補正予算は申請しておりません。</p>

内容	意見要旨	回答
質問	P21 70 71 現在、公民館図書室と図書館との連携についてはどのようになっているのでしょうか。研修はどのようなものですか。	公民館管理室から依頼され、管理室主催研修に講師として派遣しています。また、図書館における初任者研修・全体研修については、「図書室担当者等講習会」として、公民館図書室担当者に参加を呼びかけています。また、管理室の依頼により公民館図書室へ訪問し、図書資料の選定・収集・読書環境整備等の相談に応じています。
質問	P27 101学校と図書館との交流について 交流会は何回くらい行っているのでしょうか。 子どもの読書活動を推進していくには教職員、司書教諭や学校図書館指導員と図書館職員との連携が欠かせません。	中央図書館では、昨年度の中央区対象に2回行いました。その他に全市を対象に1回行っています。
質問	P28 102学校図書館運営委員会と図書館等との連携について 学校図書館運営委員会において図書館・公民館職員から助言をもらおうとありますが、101の交流会との違いなど、学校図書館運営委員会について詳細を説明してください。	学校図書館運営委員会は、各市立小・中学校に設置され、校長又は教頭及び学校図書館主任並びに保護者代表等その他校長が認める者で構成され、読書教育、図書館指導員の活動及び学校図書館運営について協議します。
質問	P30 120 外国市民の子ども向けサービスについて ※優しくわかりやすい日本語で書かれた資料情報を提供するとあるが、外国語表記の資料情報とは別物でしょうか具体的に教えてください。ホームページ上でも案内があるといいと思います。	外国語ではなく、「やさしい日本語」で書かれた資料情報を提供します。ホームページ上への情報提供も検討します。
質問	P37巻末資料 (4) 千葉市地域おはなしボランティアの養成と活動状況の推移について 平成30年度に派遣人数も派遣回数も大きく減っているがその理由と、※令和元年度の養成は臨時開催とありますが、その理由と今後の予定を教えてください。	平成30年度に、4か月検診へのおはなしボランティアの派遣がなくなったため、派遣人数が減っています。(健康支援課で独自にボランティアの派遣を行うようになった) 今後は2、3年ごとに養成を行っていく予定です。
質問	「GIGAスクール」が来年度から市立学校で始まると聞いていますが、タブレット教育により、本離れ・図書館離れにつながらないか心配しております。無知ですみませんが、電子書籍は「読書」としてカウントできるのでしょうか。	国の計画を参考に、読書を(文学作品に加え、自然科学、社会科学関係の書籍や新聞、図鑑等の資料を読むこと。電子書籍等の情報通信技術を活用した読書を含む。)としております。(P9参照)

千葉市子ども読書活動推進計画（第4次）【原案】に関する意見一覧

内容	意見要旨
意見	<p>子どもたちの読書推進に係る事業 図書館 学校 家庭での様々取組みなど拝見いたしました。確かに読んでもらうことも大事だと思いますが、書く事も大事な事のように思います。小説を書く、絵本を作る、書く為に参考になる本を読む。特に高校生の読書活動が減少しているのならば、小説の書き方講習会を図書館で行う。小説家を招いた講演会を開くなどの事業もあってよいのではないのでしょうか。学校図書館における役割、事業活動の中に、本の帯やポップ作り、障がい者支援事業の中にある 触る絵本づくり、点字資料づくりなどの様に本を作る楽しみ、喜びから生まれる読書推進もあるのではないのでしょうか。</p>
意見	<p>団体貸出について ◎指導要領が新しくなり教科で使う図書も変わってきていることもあり、主な取り組みにある「貸出用図書の充実」は必要であると考えます。しかし、利用を増やすためには、利用しやすさという点もポイントです。4次の推進計画具体策において利用時間帯の拡大、配送のさらなる工夫も視野に入れてほしいです。</p>
意見	<p>◎本校でも行わせてもらった団体貸出資料の見学会は、現場の教職員にとって図書を有効に利用した授業構成を行う上でとても有効であった。併せて中央図書館の見学も入れてもらったが、児童が図書館を活用するためには、まず教員が図書館について知らなければ指導できないので、ぜひ、積極的に学校現場にアナウンスしてほしいです。</p>

内容	意見要旨
意見	<p>家庭・地域・学校等との連携の中で学校図書館と図書館、公民館図書室が連携して子供の読書推進を図ることは、子供が読書に親しむ場を広げるうえでよいと思います。</p>
意見	<p>P8 4子どもの読書活動を取り巻く情勢の変化について 学校図書館法の改正や学習指導要領の改訂などが掲載され、子どもの読書環境の変化がよくわかりました。第3次計画にはなかったので今後も掲載していただきたいと思います。</p>
意見	<p>推進体制（2）には子どもの読書活動推進にかかわる関係機関・団体等の連携・交流とありますが、計画の策定に当たって事前に地区図書館・公民館図書室も含めた図書館職員や市民、直接子どもとかかわっている人の意見を聴く機会を設けて、現場の声を取り入れてほしいと考えます。 第3次計画やビジョン2040の策定の際も協議会やパブリックコメントに同様の意見が出されています。「千葉市子ども読書活動推進会議」及び「担当者会議」の活用とありますが、庁内だけで計画を策定するのではなく、計画段階から市民や地域の人に参加することで、図書館や読書活動に対する社会全体の意識が高まることにつながると考えます。</p>
意見	<p>P13 3ブックスタート事業について 親子に絵本を手渡し、絵本でコミュニケーションや読み聞かせの大切さを伝えるとてもいい取り組みだと思います。地域おはなしボランティアの派遣がなくなり残念ですが、手渡す本の選書や絵本ボランティアの研修など中央図書館のかかわりが重要なので、所管課として加わることを希望します。</p>

内容	意見要旨
意見	<p>P15 23「こどものページ」の活用について 図書館ホームページのリニューアルが予定されているようですが、こどものページだけでなく中高生のページも活用されるよう事業項目に加えていただきたい。</p>
意見	<p>P18 47市内小学校の訪問について 是非、すべての小学校に訪問してほしいと思います。図書館近隣小学校には図書館職員が訪問しているが、図書館が近くでない小学校にこそ訪問し図書館の紹介や図書館利用の促進を図っていただきたい。更に、移動図書館車で訪問し貸し出しをするなど工夫をしていただきたい。</p>
意見	<p>P19 54放課後子ども教室でのおはなし会の実施について 放課後子ども教室が、地域の実行委員から業者に委託するアフタースクール事業に移行し、それまで行っていた地域の人やボランティアによるお話会などが実施できなくなっています。子どもと地域や本とのつながりを維持できるよう所管課に要望していただきたい。</p>
意見	<p>P20 69公民館施設の開放について 70,71資料収集や研修について 公民館の空いている諸室を自習室として開放し、子どもの居場所・読書スペースとして幅広い年齢の子どもが利用していると聞きました。公民館が子どもたちに周知され利用されることを嬉しく思います。 公民館図書室は教育振興財団の職員と図書館職員と一緒に訪問し、配架や蔵書の指導することによって良くなったと感じます。他方、子どもたちにとっても身近な読書施設として公民館図書室には、専門職の司書を配置し千葉市図書館として直営で運営することを望みます。</p>

内容	意見要旨
意見	<p>P23 (3) 学校図書館における役割について P24 千葉市では学校司書という名称ではなく学校図書館指導員となっています。司書資格を持たない人もいるので、学校司書という記載は不適当だと思います。 学校図書館指導員が配置されたことで、子どもの読書環境の向上と読書意欲が高まったことを評価します。しかし2校掛け持ちが多く子どもの読書活動推進のためには1校専任配置が望ましいことを計画に明記することが重要だと思います。</p>
意見	<p>P25 83学校図書館資料のデータベース化とコンピュータ機器の整備、88 相互貸借システムの構築、89 配送サービスの構築などの事業は、第4次計画でも「検討する」となっています。予算が必要な施策に関しては財政上の措置を講じるよう財政担当部局に要望してください。</p>
意見	<p>P27 100図書館と公民館図書室との交流について 市民にとってはどちらも大切な図書館であり、公民館図書室が独自に適切な選書ができるように力をつけてほしい。選書情報の提供だけでなく、情報交換や研修を強化し、図書館の選書会議に参加できるようにするなど、業務上の知識の蓄積やスキルアップができるような交流の場となってほしいと思います。</p>
意見	<p>千葉市子ども読書活動推進計画（第4次）が策定され、子どもたちが本に親しみながら成長していく読書環境が整うことを期待しています。 計画の策定に当たっては、様々な関係部署との連携や市民の協力が必須であることから、それらがスムーズに行えるように、市図書館は業務委託することなく直営での運営を望みます。</p>
意見	<p>P10 4(1) 継続的な読書活動推進のための体制整備について 実際に子どもたちと関わっている方の意見を取り入れてほしいと願います。</p>

内容	意見要旨
意見	P13 3 ブックスタート事業に関して、図書館との連携を密にいただき、初めて出会う絵本について大切に考えていただけたらと思います。
意見	P13 4 ファミリーブックタイム運動の事例集は大変評判が良いようです。
意見	P13 2 地域の役割と取組み の中で文庫の事を取り上げてくださりありがとうございます。できれば本市ではの後に、市民による という言葉を補っていただくとわかりやすくなるかと思います。
意見	P17 36 私たちはこの千葉市子ども読書活動推進計画(第4次)におきましては、図書館における児童青少年サービスの担当職員のお力が不可欠と考えます。いつも職員の方々にはお世話になっております。健全な児童青少年サービスを提供するために、これからも、専門性と経験を兼ね備えた正職員を長期的視野に基づき育成していただくことをお願い申し上げます。
意見	P18 47 図書館職員の訪問について とても良い試みだと思いました。図書館の距離にかかわらず、どの小学校も等しく図書館の恩恵を受けられるようにお願いいたします。
意見	P24 学校図書館における役割 子どもたちによって1番身近で大切な図書館は学校図書館に他ならないと思います。現在、学校図書指導員は一校に一人ではなく、掛け持ち勤務となっているようです。いつでも学校図書館に司書資格のある指導員のいる環境を望みます。
意見	P27 学校と図書館との交流会について とても良い試みと思いました。
意見	P31 125 読書まつりの実施 毎年企画から参加させていただいています。今年度はコロナウイルスの影響で残念でしたが、収まりましたらぜひまた参加させてください。